



第32号

「滋賀県日野町」 議会だより

市民のみなさまと議会をつなぐ広報誌



小学6年生 議場で学ぶ

INDEX

特集 小学6年生議場見学	P2～3
委員会からの報告	P5～7
13議員一般質問に立つ	P8～21
議員のうごき	P22

6月議会
5月14日に開催された
臨時会および6月2日から
24日に開催された
定例会議の結果を
お知らせします。

日野町のPRキャラクター
あひのひな



令和7年6月定例会議号(令和7年8月15日発行)

町内小学6年生のみなさんが 議場見学に来てくれました



6月26日から6月30日にかけて日野、桜谷、南比都佐小学校の6年生が日野町議会を見学に来てくれました。議場や議長室などを見学し、議員から議会の役割について説明を受けたり「日野町の人口は何人でしょう?」「町議会議員には何歳から立候補できると思いますか?」などの穴埋め問題に挑戦してくれました。質問コーナーではふだん生活の中で疑問に感じていること、してほしいことを議員に直接伝えてくれました。また、今回は保護者の方々にもご参加いただきました。

おはようございます!
ようこそ、日野町議会へ。



議場って
初めて入るけど、
どんなところかな〜。

思ったより
広くて
びっくり!!



議長室で議長の仕事について
お話を聞きました



歴代議長の
写真がある!



質問や要望

- 議員になるためにはどうしたらいいですか。
- 保育士にどんな支援をしているのですか。
- 体育館にエアコンがほしい。
- 町民プールを作ってほしい。



運動場にあった
バスケットゴールがなくなったのは
なぜですか？



実際に発言席に
立ってみました！！

役場探検に！
役場の各課の仕事について
教えてもらいました。



すいとうしつ
「出納室」の
読み方
わかるかな？



保護者の方の感想

- ・議長さん、議員さんのお話を子どもたちが食い入るように聞いていた姿が印象的でした。
- ・議場見学がなければ議場に行くこともなかったのですが、このような貴重な学びの場を設けてくださりありがとうございました。
- ・子どもたちの質問する時間がもっとあれば良いと思いました。



議場見学の感想

- 日野町の努力やひみつをたくさん知ることができました。
- 議場が思ったより広くてびっくりしました。
- 初めて議場に入って緊張しました。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します。

第3回臨時会（5月14日）

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案
議第36号	専決処分について（日野町税条例の一部を改正する条例の制定について）
議第37号	専決処分について（日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）
議第38号	日野町固定資産評価員の選任について

【議員提案】

議会人事・議会構成に関する案件 10件

通年議会を導入するための条例改正 4件 ※通年議会導入についての詳細は22ページ

第4回定例会 6月定例会議（6月2日～24日）

議案審査を付託された委員会
【予算決算】 予算決算特別委員会
【産建】 産業建設常任委員会

●全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第46号	工事請負契約について（町道西大路鎌掛線道路改良工事（その12）	産建
議第47号	工事請負契約について（町道小御門線歩道新設工事（その2）	産建
議第48号	町道の路線の認定について	産建
議第49号	令和7年度日野町一般会計補正予算（第2号）	予算決算

新しい議会人事が決まりました

議長 杉浦 和人

副議長 野矢 貴之

監査委員 川東 昭男

委員会名（定数）	委員長 副委員長	委員名（議席順）	オブザーバー
総務常任委員会（8名）	中西 佳子 後藤 勇樹	福永 晃仁 谷口 智哉 松田 洋子 柚木 記久雄 川東 昭男 野矢 貴之	議長
産業建設常任委員会（8名）	西澤 正治 福永 晃仁	錦戸 由佳 柚木 記久雄 野矢 貴之 山本 秀喜 加藤 和幸 中西 佳子	議長
厚生常任委員会（8名）	松田 洋子 谷口 智哉	錦戸 由佳 川東 昭男 山本 秀喜 高橋 源三郎 加藤 和幸 杉浦 和人	—
議会広報常任委員会（7名）	福永 晃仁 柚木 記久雄	錦戸 由佳 谷口 智哉 松田 洋子 高橋 源三郎 中西 佳子	議長
議会運営委員会（7名）	後藤 勇樹 山本 秀喜	福永 晃仁 松田 洋子 加藤 和幸 中西 佳子 西澤 正治	議長、副議長
予算決算特別委員会（13名）	高橋 源三郎 柚木 記久雄	議長を除く議員	議長
地域振興対策特別委員会（13名）	谷口 智哉 錦戸 由佳	議長を除く議員	議長
議会力向上特別委員会（13名）	山本 秀喜 谷口 智哉	議長を除く議員	議長

予算決算特別委員会

国の交付金を活用し、定額減税の調整給付金の不足額給付分を計上

付託議案 1 件

●議第49号 令和7年度日野町一般会計補正予算(第2号)

補正予算の総額は、歳入歳出それぞれ8,985万8千円で、予算の総額は歳入歳出それぞれ107億4,909万3千円となりました。今回の補正予算は物価高騰対応へ国の地方創生臨時交付金を活用したもので、令和6年度に実施した定額減税にかかる調整給付金の不足額の給付に充てることとなるものです。なお、今回の補正額のほとんどは扶助費(※1)として使われることになります。

(※1) 扶助費とは、社会保障制度の一環として、児童はじめ高齢者や障害者、生活困窮者などに対して国や地方公共団体が行う支援に要する経費。

《歳出の内訳》

科 目	経費の内容	補正予算額
社会福祉総務費	物価高支援給付金事業(不足額給付)	88,332千円
障害福祉費	障害者総合支援事業	1,526千円

質疑・討論・採決

Q. 物価高支援給付金事業の仕組みについて、給付金は口座振り込みによるのか、あるいはATMによる受け取りもあるのか。

A. 新たな給付の仕方については研究していきたいが、今のところは郵送で直接送付するという人が多くおられるので、その説明をしっかりと行い、給付については口座振り込みで行う。

Q. 税の滞納がある場合でも給付は行われるのか。

A. 給付は滞納者であってもそれに充当してはならないというルールがあるため、該当する人には給付させていただく。

反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



総務常任委員会

多文化共生社会をどうつくっていくのか!

調査・研究

●多文化共生社会について

Q. 外国人が多い市町の理由は?

A. 以前は、技能実習制度で来られていたが、現在は、特定技能制度という企業の人材不足を補うために受け入れる制度で来られている外国人が多く、製造業の盛んな町に多い。増加率の背景には、家族で来られることが多くなった。

Q. 外国人と共生していくことが問われる時代が始まっている。町が方向性を示し、集落支援員の取り組みも含めて検討してほしい。

A. 今後、集落支援員を雇用し、地域の悩みを聞かせていただく中で、多文化共生の課題も出てくると考えている。先進地事例も調べながら、対応を考えていきたい。

●議場見学について

Q. 平等に町内の小学校の児童が参加できるようにしてほしい。このような取り組みを親が見に来てくると、家庭内の会話も変わるなど効果が広がる。今後、声掛け等で開かれていたらどうか?

A. 実際に議会が行われている議場を見たり、緊張感を味わったり、こどもたちの目の輝き具合が、教科書や資料だけで学習しているのとは違うと感じている。コミュニティスクールで開かれた学校であるため、足を運んでもらう機会を積極的に発信していきたいと考えている。

産業建設常任委員会

工事の進捗、町道認定はしっかりと検証を!!

付託議案3件

●議第46号 工事請負契約について(町道西大路鎌掛線道路改良工事(その12))

請負先 株式会社向茂組 日野営業所 指名競争入札 契約金額 187,539,000円

●議第47号 工事請負契約について(町道小御門線歩道新設工事(その2))

請負先 株式会社今井工業 指名競争入札 契約金額 74,580,000円

●議第48号 町道の路線の認定について

県道土山蒲生近江八幡線の一部鎌掛内でのバイパス付け替え工事が令和7年度から県の事業により行われる。工事完了までには年月がかかるが、速やかな移管のためにも今回提案議題として上がった。

起点 日野町河原二丁目11番地、終点 日野町大字鎌掛5893番地 総延長4,640m

質疑・討論・採決

議第46号

Q. 町道西大路鎌掛線道路改良工事後は、青葉台等に行く道はどのように整備する予定か。

A. 本線の位置が高くなることから、両サイドの道路との取り付けが必要となり、新しい交差点を整備して、現道に接続する予定をしている。

議第48号

Q. 町道の路線認定について、起点から終点までが長い路線となっているが各地区からの要望への対応は？

A. 要望いただいた修繕については、順次、県で対応しており、改良要素のあるものは移管に向けて町から要望を行っている。

反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



調査・研究

日野町観光ビジョンとこれからの展望について

厚生常任委員会

子どもの貧困をどう考えるか

調査・研究

(1) 令和7年度新規事業「児童育成支援拠点事業」について

- ・児童福祉法に基づく「家庭支援事業」の6事業の一つに位置付けられている。
- ・家庭支援事業の目的は、虐待を防止し、児童の最善の利益の保障と健全な育成を図ること。
- ・家庭や学校に居場所のない小中学生の児童と保護者が対象。

事業内容と効果

- ▷ 事業者へ委託し、主に放課後に当該事業の対象児童の居場所となる場を開設する。
- ▷ 児童とその家族が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援。

この制度の課題点

- ▷ 担い手不足のため、ハイリスクケースの利用しかできない。
- ▷ 学齢期の利用が難しい。
- ▷ リスクの中程度のケースに早い段階から利用していただける体制整備が必要。

(2) 子どもの貧困や家庭環境の状況把握について

■令和5年度に町が行った子育て家庭対象の貧困に関するアンケート結果の共有

- ・必要な食料が買えなかった、衣服が買えなかった、家賃の滞納などの回答が10%
- ・傾向としては、未就学児家庭より小中学生家庭の方がさらに割合が高い。

■町の支援状況の共有

- ・ひとり親世帯、非課税世帯の児童一人につき50,000円を支給
- ・保育料や保育にかかる副食費、学童保育所の減免など、経済的に困窮している世帯に対する支援制度

地域振興対策特別委員会

地域の課題を解決する

目的

少子高齢化や人口減少による町の課題解決のため、多岐にわたる地域振興策を総合的に審議し、町の持続的発展に向けた政策提言や行政監視を行い、町の将来を見据えた地域づくりに貢献する。

今後の進め方

議会からの提言「定住・移住の促進に関する提言」および「一人一人が輝き持続可能で誰もが元気に暮らせるまち“日野”に」の進捗状況を検証し、現在ある課題の解決に向けて動く

政策提言についての進捗状況確認

現在ある課題を抽出

地域の担い手不足

関係人口増

経済循環

財源確保

各課題の解決のために動く

議会力向上特別委員会

議員間討議を積極的に行い、議会を活性化させる

目的

住民ニーズの多様化や地方分権の進展に対応するため、議会の機能向上を目指し、議会運営の改善、ICT活用、議会基本条例の見直し、広報広聴の充実、議員研修など多岐にわたる調査・検討を通じて、政策提言能力や行政監視機能を強化し、町民に信頼される開かれた議会を目指す。

スタートした取り組み

- ・タブレット端末（Side Books）の導入
ペーパーレス化 提案資料の検索が容易
- ・通年議会制（令和7年6月1日）の導入開始
詳細 22ページに記載
- ・待遇改善（令和7年4月）報酬額改定
詳細 23ページに記載

課題をピックアップ

- ・タブレット端末の更なる活用
- ・議員のなり手不足改善への取り組み
- ・住民、組織・団体からの意見収集
- ・広報・広聴の更なる充実

今年度実施していく事項（決定している項目のみ）

■政策立案、提言に向けて研修会開催

講師 地方公共団体政策支援機構

目的 政策提言を行い、私たちの議会力を向上させる

令和7年6月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質 問 内 容	ページ
1 谷口 ともや 智哉	1 高齢者の健康づくりの担い手は誰なのか 2 「チョイソコひの」運行拡大のための施策はあるのか	P. 9
2 川東 あきお 昭男	1 河川の(竹や木の伐採など)環境保全について 2 河川の(災害を未然に防ぐ)浚渫について	P.10
3 西澤 まさはる 正治	1 梅雨と台風への準備について 2 県道土山蒲生近江八幡線の道路改修について	P.11
4 福永 あきひと 晃仁	1 「松尾公園」新たなステージへ 2 暮らしと環境と次の時代	P.12
5 錦戸 ゆか 由佳	1 子育て情報発信ツール公式LINE 「ひのこどもタウン」の活用状況について 2 日野町の人口減・少子化対策について	P.13
6 高橋 げんざぶろう 源三郎	1 石楠花観光に行って現地で思ったこと 2 大谷公園と松尾公園に子どもと大人と一緒に楽しめる遊具の設置を	P.14
7 松田 ようこ 洋子	1 こども誰でも通園制度について ② 新こども園の大きさは ③ 給食の無償化について	P.15
8 山本 ひでき 秀喜	① まちの財政状況から「未来への投資」をどう考えるの？ 2 「こども誰でも通園制度」日野町の対応は 3 日野町環境基本計画がスタートするに当たり	P.16
9 柚木 きくお 記久雄	1 役場北側駐車場における駐車車両について 2 区長、町代用タブレット端末の費用対効果について	P.17
10 中西 けいこ 佳子	1 子育て支援の充実について 2 熱中症対策について	P.18
11 加藤 かずゆき 和幸	① 日野町の視点で考えるコメ問題 2 戦後80年の取り組みについて ③ 自治会活動への女性や若者参画の仕組みは	P.19
12 野矢 たかゆき 貴之	1 地域のまちづくり総合窓口はどこ？ 2 自分の興味関心を知るための授業は？	P.20
13 後藤 ゆうき 勇樹	1 低所得世帯支援の現状と今後の取り組みを問う 2 進む高齢化への対応と福祉施策のあり方を問う	P.21

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。
本会議はインターネット配信を行っていますが、機器更新中によりライブ中継、録画中継ともに音声のみの配信となっています。
一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



問 高齢者の健康づくりの担い手は誰なのか

答 住民による介護ボランティアなど多様な主体が連携し健康づくりの機運を醸成したい



たにぐちともや 議員 谷口 智哉



問

① 高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)があるが、高齢者の健康づくりに関してはどのような指標に基づいて行っているのか。また、その進捗状況についても伺いたい。

② 高齢者の健康づくりに関しては各地域に、主体的に担う組織団体等はあるのか。

③ 「介護予防教室等の高齢者の通いの場の参加」が健康づくりにつながっている根拠はあるのか。

答

① 「いきいき過ごせる健康と生きがいづくり」という施策目標を定め、2つの指標を掲げています。一つ目は「介護予防教室等の高齢者の通いの場の参加率」で、令和4年度の6・9%から令和8年度に8・0%を目指すこととしており、令和6年度の実績は7・6%です。二つ目は「高齢者交流サロン開催団体数」で、令和4年度12

団体から令和8年度24団体を目指すこととしており、令和6年度の実績は15団体です。

② 地域住民全体が主体となりますが、地域の助け合いや支えあいを広げていけるように、介護保険の事業である生活支援体制整備事業を活用しながらコーディネート配置し、協議体の設置を具体化していきます。現在各地区社会福祉協議会にアプローチもしています。が、全体的ではなく、理事会レベルの少ない人数で地域で取り組めることを考えていただくような話し合いを進めていきたいと考えています。

③ 健康長寿の3本柱は「栄養」「運動」「社会参加」と言われており、サロンの参加も健康な状態と要介護状態の中間地点であるフレイルの予防につながっていますので、サロンの開催や参加を推進進めています。

問

「チヨイソコひ」の運行拡大のための施策はあるのか

問

「チヨイソコひ」の「チヨイソコひ」の運行拡大のための施策はあるのか

答

① 国ではデジタルを活用した切れ目のない公共交通サービス(MaaS)の普及に向けオンデマンド交通等の導入を推進しており、また当町では町営バスが定時定路線で、限られた車両を最大限運行していましたが、運行本数が少ないなど利便性が高くない地域がありました。そのようなか、令和5年3月から町営バス南比・中山線沿線地域で「チヨイソコひ」の実証実験を行い、利用者に好評であったことから順次運行地域を拡大しているところです。

② 利用者の予定に合わせた効率的なルートや配車による利便性の向上、また高齢者の外出機会の創出など、多様な移動ニーズに 대응することができていると考えています。

③ 高齢者の方の外出機会が増えることで、体力維持や認知症予防・孤独感の解消・社会とのつながりの維持など、健康的な生活を送ることができるよう、多くの方にご利用いただきたいと思います。

④ 町では令和5年度から長寿福祉課や商工観光課等の関係課のほか、滋賀県や運行事業者、予約受付業者や社会福祉協議会等による「チヨイソコひのワーキンググループ」を開催し、最大限使ってもらうためにどうしたらよいかの検討を重ねています。成果としてキャンプ・シユレス決済対応にしたり、公民館と一緒にモルツクの体験会を開催しました。ほかにも生涯学習の事業にチヨイソコを使って参加いただけないか協議しています。

問 河川の(竹や木の伐採など)環境保全について

答 竹や木の伐採について、当初説明のあった範囲が早急に実施されるよう県に強く要望する



かわひがし あきお
川東 昭男 議員



問 国は、令和元年度の台風19号などで、河川の排水不良箇所起因する大規模な浸水被害が多発したことを受け、特例措置として「緊急浚渫推進事業」を立ち上げました。

国はさらに、緊急的に浚渫を実施すべき箇所は未だに数多く残っているとして、令和7年度から5年間延長されました。

滋賀県は、この5年間、県下全域において、本事業を実施されました。この中には、日野川・南砂川の事業が実施されています。しかし、5年間で考えると、日野川の実施箇所はごく僅かで、浚渫については、ほとんどが河川愛護事業委託で、町民による「草刈り」「川ざらえ」です。他市町と比較しても、少しづつしか進捗していないと感じます。

そこで、本年5月から、県が実施中の本事業による「日野川環境保全業務委託」(明治橋～増田橋)

の事業について伺います。

①この事業で行う伐採は、左岸(豊田地域側)堤防の内側斜面は対象ですか。

②この事業では「浚渫」は対象外ですか。

③伐採面積・搬出など工事量と現状の進捗状況から工期内に完了しますか。

④本事業を実施するため手続き、手順は。

答 ①伐採範囲は、河川中央部の竹林、雑木の部分を予定している。

②浚渫は、今回の業務には含まれていない。

③竹の密度が濃く、処分費が増加しており、想定範囲の伐採はできないと県から報告を受けている。

④行政懇談会の要望箇所を中心に、町で整理して県に要望している。

要望として 県は、事業計画で伐採が必要だと決めておきながら「現場の竹木の量が多ければ、予定通りの面積は伐採できない」との事だが納得できません。町は「当初説明のあった範囲が早急に実施

問 河川の(災害を未然に防ぐ)浚渫について

答 行政懇談会での地域要望を現地確認し県に要望する。危険な箇所の察知は、パトロールを通じ「河川カメラ」の活用を検討する。

問

河川の浚渫は、洪水防止・水質改善生態系の保護・橋梁など構造物の安全確保という重要な目的があります。

基本的な考え方は、②町の河川の浚渫について、県への要望内容は、③令和7年度当初予算における浚渫の内容は、④この5年間、滋賀県が取り組んだ「緊急浚渫推進事業」の実績の内、日野川に係る内容は、また、整備後における地域の喜びの声を併せてお聞きします。

大なもの、県に要望している。

②県と合同のパトロール時において現地確認。各地区の「行政懇談会」で要望を受けて県に要望。

③町予算は、河川愛護活動事業の川ざらえ分23地区、1千150万円。

④「浚渫」南砂川鎌掛地区(令和3・令和5年度)

答

①河川愛護「川ざらえ」を中心とし、河川の土砂の堆積量が膨

「伐竹」日野川猫田、別所、豊田地区(令和6年度)

「大雨が降ってもこれで安心できる」と地域の声。

⑤滋賀県の今後5年間は、県のホームページに掲載。

要望として

町は、事前の危険察知について、パトロールなどを通じ「河川カメラ」の活用などを検討すると回答。河川の浚渫は、災害を未然に防ぐ重要な課題。地域と行政・議会が一体となって、共に進めることが大切だ。



鎌掛 南砂川
浚渫前

鎌掛 南砂川
浚渫後(完了)

問 梅雨と台風への準備について

答 河川改修、浚渫、伐採については引き続き県に要望する



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員



問 いよいよ雨の季節がやってまいりました。

わが日野町においても充分に大雨に備えておくことが大切なことだろうと思います。

個人で出来る対策は住民各自で行うことが大切なことだろうと思います。が、個人で出来る対策には限界があり、公共事業において、河川の氾濫への備えや土砂災害等、多様な局面を想定した対策が必要であります。特に河川の浚渫や雑木の除去等は公共の責務において適切に実施されるべきと考えます。

鎌掛地域でも大掛かりな浚渫工事を実施して頂きましたが、まだ浚渫が必要な箇所が残っています。特に日野川の御代参橋下流の雑木の除去は早急な対応が望まれます。これから8月～9月に入ると台風の時期になるため、災害が発生する前の対策が必要です。県へ

の要望も含め、町の対応を伺います。

答 河川の浚渫が必要箇所について

は、河川愛護活動事業の川ざらえでの取組みが可能ですので、建設計画課に相談をお願いします。日野川の御代参橋、下流の雑木については、行政懇談会で伐採の要望をいただいております。県と町での河川パトロール時に現地を確認し、要望を行っているところです。県への要望活動については、毎年、行政懇談会で多くの要望のある河川改修・浚渫・伐採、護岸の修繕等はすべての箇所を東近江土木事務所に見てもらっています。また、町から知事への要望時や町村会を通じても河川改修・浚渫・伐採について要望しています。



問 県道土山蒲生近江八幡線の道路改修について

答 県道が町道に移管される際に整備されるよう調整する

問 鎌掛地区内の重要な生活道路とな

っている県道土山蒲生近江八幡線は平成29年以来、長年の懸念であった側溝水路改修と道路全面舗装を鎌掛1区地先より3区地先まで実施していただきしました。しかし、その先が未だ着手されず現状のままです。

また、区間内の大窪地先や小井口地先は通学路にもなっているが幅員も狭く危険な箇所が多くあります。加えて近年は、路面や側溝のいたみも激しく住民からの要望も強いものがあります。

現在は県道ですが、町道への移管が進めば、維持・管理が案じられます。住民が日常生活に道路であり、早期の改修を要望するものですが、町としての考えや対策を伺います。

答 県道土山蒲生近江八幡線の町道への移管に係る町道の路線の認定については、本定例会議においても、提案

させていただいているところです。新たに県道の一部となる主要地方道土山蒲生近江八幡線については、県において今年度より用地買収に着手される予定となりました。

要望いただいております。道路改修については、行政懇談会においても毎年要望いただいております。県道が町道に移管される際に整備を行うよう要望してきたくところです。予定されているバイパス区間の工事が完了すれば、町道への移管となりますので、この移管に向けて現在の県道土山蒲生近江八幡線の道路改修が実施されるよう県と調整を進めていく予定です。



今回町道に移管される区間が長く改修が必要な箇所も数か所ありますが、要望いただいた箇所ができるだけ早期に改修できるよう町から県へも要望していきたいと考えています。

なお、町道への移管後は町が管理者になることから、新たに修繕が生じないよう県において事前に道路改修を実施いただきます。

問「松尾公園」新たなステージへ

答 住民ニーズを反映した具体的な改善を進めていきます



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員



問

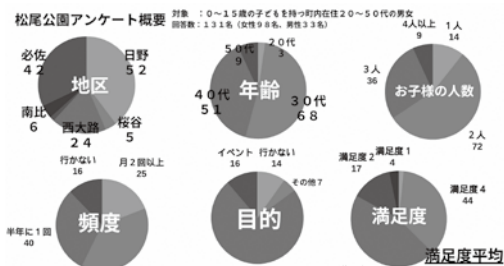
松尾公園について約2年間執行側

と今後の方向性を建設的に議論してきました。昨年度は周辺環境の保全整備や地元企業寄付による大型遊具の設置など、より住民目線に立った改善は確実に進んでいるように感じます。さらに魅力的な公園の整備を通じてまちづくりを進めていくために議論を深める必要があります。

答

① アンケート回答数や内容を見てい

ると松尾公園への関心の高さが伺えます。特に公園南側池周辺の整備について具体的な提案を頂いていることもあり、今後進めていく基本設計業務においてもできる限り反映させていきたいと考えています。



公園南側の池整備について

- ① 小規模な数か所、地面から湧き出る（ポプジョット）が良い
・湧き出るなら池がなくてもいい
・監視する人がいないと池は危険なので、夏場だけでも水遊びできるとありがたいから
- ② 現状通りの日本庭園風が良い
・現状のままポプジョットも取り入れると和風感じられ景観が良い
・少しだけ形状を変えて子どもが足をつける程度の箇所があれば良い
- ③ 大型のじゃぶじゃぶ池が良い
・縦横割にメッシュ状にできるといい
・縦横割にメッシュ状にできるといい
- ④ 池を無くして芝生化する方がよい
・現状の池も草で水辺の管理は楽になる
・水辺の管理は楽になる
・安全性を考えると芝生化が現実的になる
- ⑤ その他
・緑地スペース（サッカー・バスケットボール等）
・日陰が少なく気温も高いので全天候型屋内施設が良い



松尾公園への意見、要望

- ・駐車場が狭いので、もう少し広くしてほしい。芝生のエリアはそのままが良いと思う。
- ・松尾公園は昔からあって、幼稚園、保育園の子が数多く来たり、お年寄りの方がグラウンドゴルフをしたりウォーキングや犬の散歩に来たりと、沢山の人が来られていてとてもいい公園だと思います。いい公園だからこそ管理の行き届いた公園でなければなりません。そういった意味では管理の行き届いた公園が必要だと思います。
- ・山が崩れているため危険です。崩落して公園に広く使える方がいいように思います。
- ・公園の土に腐葉土が散らばっている。大きな子が飛び降りたりして遊んでいるのを見て小さい子が真似をしてしまうから危険。
- ・日陰が少なくて、気温が高い日は公園を避けて家で過ごすのが多いと思うので、ゴミ箱の設置や中学校からの指導をしてほしいです。
- ・みんなが、みんなのためにきれいにする運動、ボランティアで草刈りの日呼びかけてはどうだろうかと思う。

答

6 次環境基本計画

国においては第6次環境基本計画を策定し、住民・行政・関係機関がより連携を深めるために中期的な環境対策についてお聞きします。

問

自然豊かな歴史あふれるまち日野町で暮らしている私たち

は「環境負荷」や「環境保全」という言葉にはあまりなじみがないように思えます。国内では徳島県上勝町のリサイクル率80%・生駒市の再生可能エネルギー・真庭市のバイオマス・横浜市のブルーカーボンなど先進的な自治体も多くみられます。私自身も長年、環境活動について興味を持って生

答「まちのたから」を大切に、世代を超えた取り組みを進めていきます

活をしてきました。特にro back（一般社団法人APPバンク・小林武史氏・櫻井和寿氏・坂本龍一氏）の取り組みを通じて社会の在り方を模索するようになりまし。日野町環境基本計画策定にあたり住民・行政・関係機関がより連携を深めるために中期的な環境対策についてお聞きします。

画・第7次エネルギー基本計画など環境政策を起点として様々な経済・社会的課題の解決に向けて取り組まれている。また滋賀県はマザーレイクゴールズ（MLGs）において琵琶湖を切り口として環境と経済・社会をつなぐ健全な循環の構築に向けて連携協働による取り組みを進められています。当町においてはこれまでから公害対策を中心とした水環境の保全やごみ減量の取り組みを進めてきました。これからの環境への取り組みにおいても当町の強みである「進取」の気性を活かしながら「まちのたから」である自然環境を守り、次世代に良い状態で引き継いでいくための施策、また地球規模の環境問題にも目を向けた取り組みを進めていきます。

問 子育て情報発信ツール公式LINE「ひのこどもタウン」の活用状況について

答 より良い情報発信、効果的な運用に努める



にしきど ゆか 議員
錦戸 由佳



問 町では、新規事業として令和7年5月より子育て世帯に特化したLINE公式アカウントを開設しました。

① 発信内容の対象となる子どもの年齢が0～5歳の未就学児と限定した理由は。

② これまでの発信方法との違いは。

③ 今後の展望は。

答

① 対象者にタイムリーかつスピーディーに有益な情報を届けるため。

② LINEを活用することで、情報をより効果的に継続して受け取っていただけると考えている。

③ 地域の子育てサロン、つどいのひろば「ぼけっと」などの活動の様子が具体的に分かる情報発信を検討しており、子育て支援に関わる全ての課と連携し、効果的な情報発信に努める。

◇要望として

この事業はスタートして1ヶ月程です。このツールを使って様々なサービスの普及に努めていただき、半年後、1年後には住民の方々に素晴らしい事業だと感じていただけるように引き続きご尽力いただきたい。



▶「ひのこどもタウン」登録用二次元コード



▲つどいのひろば「ぼけっと」の外観

問 日野町の人口減・少子化対策について

答 日野町で子育てしたいと思える自慢の町を目指す

問 令和6年4月に県内4カ所目となる児童相談所、日野町子ども家庭センターの設置、同年5月には少子化対策・子ども未来戦略会議を立ち上げた。歯止めのない人口減、少子化にどのように取り組んでいくのか。

答

① 令和7年2月25日付「少子化対策・子育て支援施策」の資料にある中の新規および拡充と記載がある事業がそれに当たるものである。



▲資料読取り二次元コード

② 児童相談所とは別に設置された日野町子ども家庭センターとは。

③ 町の教育でアピール出来るものは。

※1 児童相談所とは、子どもたちが健やかに成長できるように、様々な側面から支援を行う県の機関。

※2 少子化対策・子ども未来戦略会議とは少子化対策、子育て支援を強化するための施策や予算、財源について検討する会議。

◇要望として
こども家庭センターをより身近に感じてもらうように、通称名を付けることを検討して頂くよう要望した。

・ポジティブ行動支援、町ぐるみで子どもを育む取り組み
・地場産品、有機米を使用した生産者や調理員の顔が見える給食
・コミュニティスクールの導入
など4点が挙げられる。



▶日野町子ども家庭センター窓口

※3 コミュニティースクールとは、保護者や地域住民が学校運営に参画し、「地域と共にある学校」を目指すもの。

問 シャクナゲ 石楠花観光に行って現地で思ったこと

答 生育状況の観察と、適切な保存・活用に努める



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員



問

ゴールデンウィークの5月5日に

鎌掛にあるシャクナゲ溪谷に行き、開花した石楠花の花を觀賞してきました。しかし、ずっと昔に見たシャクナゲ群落の「しやくなげの花」を思い出すと、花の量が減ったように感じられました。

ここは鈴鹿国定公園内であり、この石楠花は国の天然記念物に指定されていて、人の手を加えることが制限されているため、雑木に押されて花が減ってきたように感じました。しかし、国定公園内であるからと言ってそのままの状態にしておくのではなく、行政が主体となってシャクナゲ群落の手入れができるよう国に働きかけ、雑木を取り除くなど、復旧と保全に努め、必要な対策を講じていくことが大事ではないかと思いました。このことに関し町の考え方があればお伺いします。

答

鎌掛谷ホンシヤクナゲ群落は、本

来高地で自生するホンシヤクナゲが低地に広範囲に群生していることから昭和6年に国の天然記念物に指定されました。指定後は観光資源として活用され、多くの来訪客を楽しませ、滋賀県の花・日野町の花に指定され、シンボルとして住民に親しまれてきました。

溪谷沿いのホンシヤクナゲ群落地は、急傾斜地のため管理が困難なことに加え、温暖化等の気候変動の影響で樹勢が衰え、昭和40年代以降には部分崩落が起るようになりました。町では各分野の専門家により現状調査を行い、国や県の指導のもと環境整備・回復事業を実施しました。引き続き生育状況の観察により適切な保存・活用に努めていきます。



問

大谷公園と松尾公園に子どもと大人が一緒に楽しめる遊具の設置を

答 「子どもまんなか公園づくり支援事業」で検討する

問

日野町には代表的な公園として「大谷公園」と「松尾公園」

があります。しかし2つの公園を見渡しても、親子で遊んだり楽しんだりできる施設や遊具が少ないのが実情です。どちらの公園も大人から子どもまでスポーツや散策、集いなどはできますが遊具が見当たりません。ただ松尾公園には2種類ほどの遊具が設置されていますが写真参照これは昨

答

大谷公園と松尾公園の整備については、今年度より国の補助金を活用した「子どもまんなか公園づくり支援事業」に取り組んでおり、この中で遊具の設置も合わせて検討する予定です。

その一角(例えば、今駐車場になっっているプール跡地)に遊具施設が欲しいものです。また、松尾公園は遊具と散策が充実できる公園として今後力を入れて頂きたいと望むところです。

それゆえ毎年予算の範囲内で年に一つでも設置していただければ、大谷公園や松尾公園に行けば遊具があつて親子で楽しめるということになれば休日には親子連れでにぎわうと思います。

の広い面積は全面に芝生が広がっていますが、子どもたちを惹き付ける魅力に欠けると思います。一方、大谷公園はスポーツをメインとした公園

当局もこの2つの公園に国や県の補助金を利用して遊具の設置を検討していただけだと思いますが、当局の考えがあれば聞かせてください。



問 新こども園の大きさは

答 保育ニーズにこたえるため、10,000㎡必要



まつ だ よう こ
松田 洋子 議員



問 ①なぜ2,800㎡(300人規模)

の認定こども園が必要か
具体的な根拠を伺いま
す。

②幼稚園の跡地を利用す
ることは考えていないの
か伺います。

③285名の定員では
1,425㎡の保育室が
必要です。保育室以外の
部屋として1,375㎡
も必要なのか、一部屋の
広さをどのくらい考えて
いるのか伺います。

④園庭、駐車場の面積は
どれくらいか伺います。

⑤幼稚園の跡地利用につ
いて伺います。

答

①現在の定員予定
数として約285

名。保育現場の声や「提
言」なども踏まえ、病後

児保育室や職員休憩室、
保護者の交流スペース等
の必要な諸室の検討を進
めている。今後基本設計

の段階において、子ども
たちにとって安心して過
ごせる環境、保育者にと

って働きやすい施設整備
を目指す。

②新こども園の整備用地
として、園舎、園庭、駐
車場の面積を合わせる
と、約10,000㎡以
上の敷地面積が必要と見
込んでいる。再編整備対
象となる既設幼稚園の跡
地利用では、面積不足か
ら、当該地を整備用地と
するとは想定していない。

③国基準通りでは「狭
い」と現場から声が上が
っている。近年の保育ニ
ーズ（病後児保育室・職
員休憩室・交流スペース
等）に対応する場所、部
屋が必要。また新園舎立
ち上げのために現場の声
を聞く目的で、部会を立
ち上げ検討している。

④園庭が2,000㎡、
2,500㎡、駐車場が
5,000㎡と考えてい
る。

⑤解体をして、駐車場利
用（地域の方、小学校の
方）と新しい宅地に利用
を想定している。

問 給食の無償化について

答 国の無償化の動向を注視して考える

問 ①12月議会で提出
された請願署名

「学校給食の充実と無償
化を求める請願」が議会
で採択されました。日野
町では、学校給食の無償
化をどのように進めるの
か伺います。

②「学校給食の充実と無
償化を求める請願」署名
で2,842人の町民の
方が「給食を無償にして
欲しい」という声が上が
っています。議会でも採
択されている中で、何も
しないということかどう
か伺います。

③住民の声も上がってお
り、議会でも採択された
給食の無償化について、
町長の考えを伺います。

答

①国の無償化の動
向を注視してい

く。町の財政状況をも鑑
み、まずは請願項目にも
ありました、地元食材を

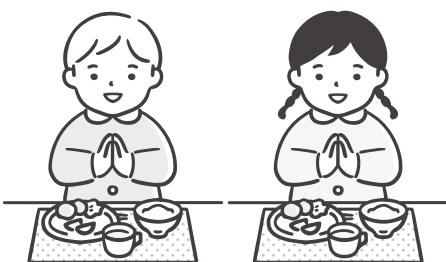
生かし、安全で豊かな給
食を実現することを考え
ている。

②給食無償化にするに
は、財政負担が一番大き
い。また日野町として
は、米代を無償にしてい
る。物価高騰で給食費を
値上げしている自治体も
あると聞いているがわが
町は上げていない。給食
費の無償化を実行するな
らば新たな財源を確保す
る必要がある。現在は保
護者の方に給食費の負担
をしてもらっているが、
無償化にするということ
は、町民全体で負担する
ということを理解して貰
う事になる。今の教育委
員会としては、これまで
日野町の学校給食で大切
にしてきた所をしっかり
守る。物価高騰対策をし
っかりして、高騰分を保
護者に転嫁して、給食費
の値上げをしないという

ことを努力していること
を理解してほしい。

③議会においても採択さ
れており、国の方でも無
償化についての世論は盛
り上がっているが、予算
を考えるとなかなか難し
いので国の動向を見守り
たい。

全く無償化をしていな
いように言われるが、一
定の条件はありますが、
低所得者の方へは、給食
費が無償となるよう町か
ら援助している。



問 まちの財政状況から「未来への投資」をどう考えるの？

答 必佐小学校の大規模改修、今年度中に委員会を立ち上げる



やまもと ひで き
山本 秀喜 議員



問

町の財政のこと
皆さんに知って

ただいて、将来の見通しがどうなるのか、できる限り調査分析して明らかにし、持続可能な町づくりを進めていかなければなりません。

今回もデータを用いた資料をもとに、町の財政のこと、これから将来のために進める大型投資案件のこと、双方を考えていきたいと思っています。

今回のデータは、令和5年度決算確定に伴う財政状況資料集から調査しました。(町のホームページで「財政状況資料集」と検索すれば出てきます)

この資料集には市町村財政比較分析表などがあり、日野町と同じ類似団体の平均値をグラフで見ることができ、歳出決算分析表からは住民一人当たりのコストも見ることが出来ます。

町の中で注目すべき指標を6点上げ、日野町と同じ類似団体である愛荘町も調査してみました。(左下の二次元コードから使用した資料を見ることが出来ます)(これらの分析データから、どう読み解き傾向をどう掴んでいくのか、実施される政策の優先度に問題はないのか、大事なポイントです。

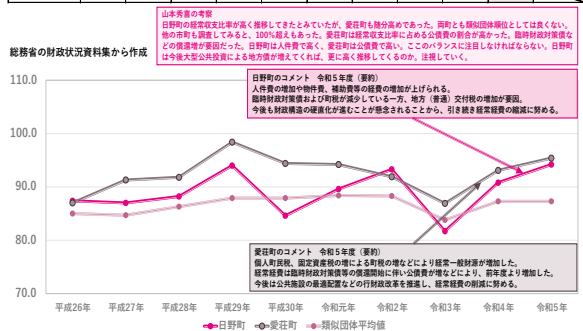
町で財政構造の弾力性を示す経常収支比率(自由)にあるのか(資料左)が上昇、その経常経費である

人件費が多くなると、町で財政構造の弾力性を示す経常収支比率(自由)にあるのか(資料左)が上昇、その経常経費である

① 財政構造の弾力性 経常収支比率 推移 (日野町・同じ類似団体である愛荘町)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体平均
日野町	87.4	87.0	88.2	94.0	94.6	89.6	93.3	81.7	90.8	94.2	31/37
愛荘町	87.0	91.3	91.8	98.4	94.4	94.2	91.9	86.9	93.1	95.4	34/37
類似団体平均値	85.0	84.7	86.3	87.9	87.9	88.4	88.3	87.3	87.3		

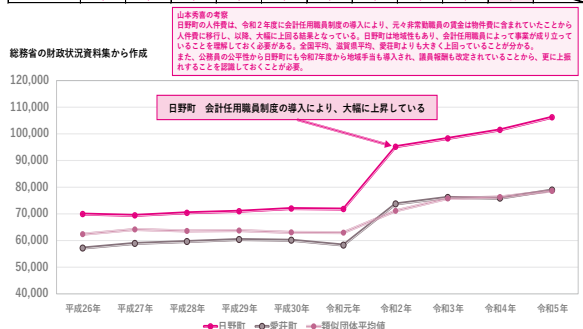
全国平均 93.1 (単位: %)



② 人件費 推移 (住民一人当たりのコスト) (日野町・愛荘町)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体平均
日野町	69,934	69,424	70,391	70,975	71,990	71,811	95,173	98,291	101,491	106,217	3/37
愛荘町	57,182	58,917	59,628	60,376	60,133	58,290	73,726	76,170	75,894	78,930	19/37
類似団体平均値	62,372	64,158	63,599	63,745	63,072	62,963	71,124	75,794	76,322	78,624	

全国平均 76,534 (単位: 円)



右の二次元コードから一般質問で使用したデータ資料(6枚)を見ることが出来ます。町の財政、住民一人当たりのコストなど、類似団体の愛荘町のデータも入れてグラフにしています。



答

①人件費の上昇は、令和5年度に0.96%、令和6年度に2.76%と国家公務員の給与改定に準じて増額改定しており、令和7年度には地

域手当2%を新たに支給しています。この人件費の増加は、町財政の硬直性を高める恐れがあり、注視しなければならぬと考えています。

②財政規律は、単年度の収支に注視しつつも、大型投資を見据えた中長期的な視野に立った財政運営に努めていきます。

③新ことも園建設のための補正予算は、9月定例会議で計上できるよう検討を進めています。

④必佐小学校の大規模改修は、子どもたちの学びの環境を保障する点から、今年度中に委員会を立ち上げ、令和8年度中に方向性を決定していきます。

⑤観光トイレの設置工事の予算は、財政状況を鑑み、出来るだけ早期に予算計上できるよう検討を進めているところです。

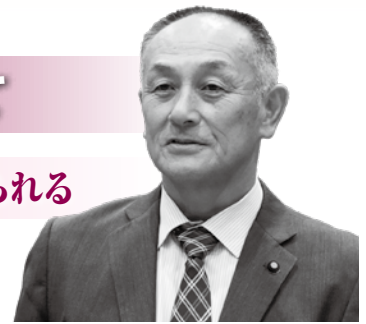
⑥宅地開発は、民間による開発も含め、地域の実情に沿った法令の弾力的な運用と緩和策について、県等に要望を行います。

問 役場北側駐車場における駐車車両について

答 今後のスペース不足の対応は近隣町有地での対応が考えられる



ゆの き き く お
柚木 記久雄 議員



問 町職員には町の給与に関する条例や規則で通勤手当の事が定められそこで通勤手段について①公共交通機関

②自家用車(自転車含む)
③上記の併用に分類し、片道2km未満の方には適用されず、自家用車利用者には距離に応じて算定されると理解しています。通勤手当支給の前に届出た交通手段が適正か管理者が判断されていると思いますが、事後の一定のタイミングで点検しているか尋ねます。
税務申告の時など一日の日で駐車場が逼迫しているようですが通勤用自家用車利用者の数は把握できていますか。
他市町では職員の駐車場利用者に料金を徴収しているようですが、建物増設等で将来駐車場スペースが足りなくなってきた場合どうするか現時点での見解を伺います。駐車場所の無償提供は問題無いのでしょうか。

答 通勤の手段については、職員となる際や変更があった際に通勤届を提出させており経済的かつ合理的な経路や手段が確認しています。また引っ越しや、勤務地が変わる人事異動があった場合、対象の職員の通勤届を確認しています。

自家用車の届出をしている職員は今年4月1日現在で正規職員と会計年度任用職員を合わせ213名です。職員の駐車区画は約190台分ですが、育児休暇等の長期休暇や、通勤手当が支給されない片道2km未満の職員の中には徒歩通勤する者などもあることから適正に利用されています。今後の駐車スペース不足時の対応は、まずは近隣で差し支えない範囲での町有地の利用も考えられます。また職員が通勤に使う自家用車を役場庁舎の駐車場に無償で駐車させることは問題はないものと考えております。

問 区長、町代用タブレット端末の費用対効果について

答 スマホの日野町防災アプリと併せて効果を高めたい

問 各自治会の区長や町代に防災用としてタブレット端末が配付されています。一般住民の方には馴染みのないものです。何人かの自治会長に尋ねても積極的な利用がなされていないようでした。このタブレット

端末の導入目的や費用、維持コストを改めて伺います。

利用されている地区の好事例は把握されていますか。

また過去に起こった災害時の本システムの利用状況はどうでしたか。

費用対効果を町としてどう認識されていますか。

導入時の利用想定と現状に乖離はありませんか。

過去に土砂などの災害があった地区には限定で全戸配布することはできませんか。

このシステムはスマホ

答 災害時に町から

の日野町防災アプリと表裏一体となったシステムです。防災アプリ取得数の拡大や普及について担当課の今後の方針を伺います。

昨年夏の台風時には2自治会から本システムを利用して報告をいただいたところでした。

大きな災害がなかったこともあり積極的に活用されている地区は一部に留まっています。一定の地区に全戸配布することの効果的と存じますが、本システムの様々な機能活用とスマホへの日野町防災アプリの登録者を増やすことにより本システムの効果を最大限に高めたいと考えています。

防災情報の伝達手段の一つとしての重要性に鑑み、出前講座や防災学習会、防災士連絡会の機関紙等あらゆる機会を通じて、普及に努めてまいります。



問 子育て支援の充実について

答 社会情勢や住民ニーズの変化を捉え、
少子化・子育て施策に取り組んでいく



なかにし けい こ
中西 佳子 議員



問 第6次総合計画
の計画期間が5年
目を迎えるにあたって、
住民意識調査を実施され
た。町の出生数は減少傾
向にあり、少子化は進ん
でいます。安心して子ど
もを産み育てることがで
きる、子育てにやさしい
まちを目指して何う。

① 住民意識調査の結果を
どう受け止め、どう活か
されるのか。
② 町の産後ケア事業は、
利用者に充実した支援に
なっているのか。
③ 「日野町子育てガイド
ブック」におむつ替え・授
乳ができる施設として民
間施設11ヶ所、公共施設
13ヶ所があるが「赤ちゃん
の駅」事業として出来
ないのか。
④ 総合計画の施策に子育て
にやさしい風土づくり
があります。役場の待合
場所にキッズスペースを
作って親子で来庁しやす
い環境をつくることは出
来ないのか。

答 ① 5年前のアンケ
ート結果と比較し
てプラスに転じており、
町の保育・子育て施策を
評価いただけていると捉
えている。引き続き、社会
情勢や住民ニーズの変化
を捉え、少子化・子育て施
策に取り組んでいく。

② 産後ケア事業は、令和
4年度から実施し、令和
7年度からは県内19市町
が医師会と助産師会に対
し集合契約により実施し
ている。
③ 「赤ちゃんの駅」事業は
乳幼児を連れた保護者が、
外出先でも安心して授乳
やおむつ交換ができるス
ペースを提供している事
業所や施設を市町が認定
し、住民へ広く、分かり易
く周知する事業で、多く
の市町で実施されている。
「赤ちゃんの駅」事業の趣
旨を踏まえ、分かり易い
周知方法等検討していく。
④ キッズスペースについ
ては、来庁者のスムーズ
な動線、バリアフリーの
観点等配慮すべき点が多
く、検討していく。

問 熱中症対策について

答 熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、
ホームページ、日野めーる、防災アプリで知らせる

問 気温は全国的に
平年より高い見通
しといわれています。熱
中症にかかり救急車で運
ばれた患者数は、年々増
加傾向にあるともいわれ
ており、今年も十分な注
意が必要です。町の熱中
症対策を何う。

答

① 日野町における
クーリングシェルター
については、現在、公
民館などの公共施設9ヶ
所、民間施設1ヶ所を指
定している。施設等の要
件を満たす場合は、施設
管理者との協議を行い、
指定していきたい。
② 熱中症特別警戒アラ
ートが発表された場合は、
ホームページや日野めー
る、防災アプリでお知ら
せし、関係課へ連絡し、町
内各施設等へ伝達するた
めの連絡体制を構築して
いる。
③ 各学校では、朝一番に
「熱中症予防情報サイト」
を使用し、警戒レベルや
危険レベルが何時位か把
握し、対応している「暑さ
指数測定装置」で、運動場、
体育館の暑さ指数を測定。
結果を昇降口などにリア
ルタイムで掲示し、校内
放送でも注意喚起をして
いる。保健だよりで多め
の水分を持つてくるよう
情報発信し、水筒の水が
なくなった児童にペット
ボトルの水を渡したりし
ている。

いが、子育て支援として
どのような事ができるか
検討していく。

指定暑熱避難施設
クーリングシェルター
COOLING SHELTER



問 日野町の視点で考えるコメ問題

答 国の示すルールを遵守し、同じ方向で対応



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員



問 メディアでは連日、コメ問題が報道されているが、その多くは、(1)価格の問題に終始し、原因があいまいにされている(2)生産者の視点が後回し(3)食糧問題・農村問題・食の安全、といった広い視野から見る視点が弱い、等の問題を抱えている。

それらを前提に日野町農業の現状と課題を伺う。
①町内においても耕作放棄地や荒廃農地が増加し、

農家戸数がこの20年で半減していることをどう見るか。

②第6次総合計画では農業の持続的発展をめざすとある。具体的な進捗状況と見通しを伺う。
③農村集落の持つ積極面を維持していく中で、収益を上げ、魅力ある農業をとりもどすという観点が求められている。集落の現状と見通しを伺う。
④学校給食への活用、販路拡大などにより、有機農業の育成支援の拡大の可能性について伺う。
⑤国政の課題について、町のこれまでの対応と今後の方針を伺う。

答

①当町は山間の農地はもちろん、平地でも生産条件が不利なところが多い。危機感を持っていく。
②各種制度による支援・提案・対策を行っている。農業の持続的発展に努めたい。
③集落機能の維持困難傾向は今後、より顕著になると思われる。

問 自治会活動への女性や若者参画の仕組みは

答 1戸1票制から1人1票制へ移行の集落も

問

7月と8月開催予定の「自治会活動に関する意見交換会」はアンケート結果の報告とグループワークを予定されているが、自治会活動を維持していくことが難しい集落が少なくない現状がある。そこで当日の運営ならびにその後の集落支援に生かされることを願い、次の諸点を伺う。

①人口減少や少子高齢化が進む中で、自治会はともすれば、集約・簡素化といった方向に進みがちで、集落の維持・発展という観点が置き去りにされていないか。
②多忙化・担い手減少の中で、前例やモデルにならない、自治の観点が見失われていないか。
③従来、集落役員や行事づくりは中高年の男性中心・男性目線で行われがちであった。決定の「場」には出にくい、出る雰囲気でない、という感が大きかった。青年や女性の参画がどのように意識化されているか。

答

①それぞれの自治会の活動等を尊重しながら、自治会が持続していくためにどのようなことが必要か、共に考えていく。
②残すものの、改善していくもの等、地域のみならずで議論いただき、自治を自分たちで担っていく



ことを再認識していただくことが大切であると考えている。

③持続可能な自治会運営や、地域の担い手という観点からも、若者や女性はもとより、移り住んでこられた方などの参画や意見をとり入れる仕組みづくりが大切であると考

えている。
たとえば、多くの集落が1戸1票制である中で近年、1人1票制を取り入れた集落がある。新しい試みで注目したい。

問 地域のまちづくり総合窓口はどこ？

答 相談先が不明な場合は企画振興課へ



の や たかゆき
野矢 貴之 議員



▲自治会に関する意見交換会が実施されました

問

堀江町長2期目の公約の1つ「地域のあり方検討」について、今年は「自治会活動に関する意見交換会」が開催される。すでに国は数年前から、まちづくりに活用できる制度を複数用意しているが、日野町の現状は別々の担当課が各々に働きかけている。地域のまちづくり相談窓口はどこなのか？「地域運営組織」「農村RMO」「第2層協議体」などが、各地でバラバラに立ち上がったとしたらそれが計画通りなのか？また、自ら情報収集が難しい地域は、介入しないと動き出せないのではないのか？

答

地域の方の相談窓口については、

地域には様々な関係主体が参加する協議組織があり、相談の入り口が「地域自治」「農地保全」「生活支援」など異なるため、実際に創意工夫したい内容に近い窓口で相談いただくのが良いと考えている。いろいろなものが立ち上がったのもウエルカムで、必要なのはそれらを把握する役場内の連携体制なのだと思う。どの窓口で相談するのが良いか不明な場合は、企画振興課に相談いただければ適した課へ取り次ぐことが出来る。まずは地域での課題共有から始めてほしい。

問

自分の興味関心を知るための授業は？

答 授業ではないが、キャリア教育の視点を意識している

問

第4期日野町教育振興基本計画が策定された。「ポジティブ行動支援や「ひのっこ宣言」など新しい取り組みも反映され、「生きる力」や「ウェルビーイング」という言葉が多く登場する。

答

「学ぶ力」をつけるために自身の興味関心を知ることが大事というの、まさにその通りだ。分野でいうとキャリア教育で、自分自身で自ら目標を定め動き出すことが主体的といえる。学習指導要領では標準授業時間数については示されているが、具体的な授業内容については各学校で任せられ余地がある。中央教育審議会でも改定の協議がされていると聞いており、おそらく学校独自の裁量が増えるのではないのか。

時間割に「キャリア教育」があるわけではない。地域をつながりや達成感などからもたらされる自己肯定感を基盤として、自分自身がウキウキワクワクして、ウェルビーイングになることが重要である。昭和の画一的な価値観から平成令和の多様な価値観に移り、意思をもって自分の幸せは何なのかを考えるのか、問いかけをしないまま人生を歩むのかでは大きく違うと思う。

本来、自分が興味のあることを実現するために学ぶのであって、学校の勉強をすれば人生が豊かになるわけではない。ということとは、「学ぶ力」をつけるためには自分が何に興味があるのかを「自己理解」することが重要である。学習指導要領を柔軟にとらえ、最も大切な「自己理解」をする時間を授業で十分に取ることができないのか？



▲第4期日野町教育振興基本計画

低所得世帯支援の現状と今後の取り組みを問う

答 支援機関と連携し、必要な支援が迅速に届くよう
取り組みを進めていきたい



ごとう ゆうき 議員
後藤 勇樹



問

低所得世帯は物
価高騰や雇用の不
安定化により生活困窮に
陥りやすく、健康や教育
などにも深刻な影響が及
びます。手厚い支援は基
本的な生活環境を保障し、
安心して暮らせる地域づ
くりには貢献します。また
社会的格差の是正にもつ
ながり、町民間の分断を
防ぎ、福祉や教育の公平
な機会を確保するために
も不可欠です。

低所得世帯を支えるこ
とは人口減少や高齢化が
進む町の持続可能性を維
持する上でも重要であり、
若年層や子育て世帯の定
住促進にも寄与します。
不安なく子育てができ、
子どもが夢を抱いてのび
のびと育ち、医療費を心
配せずに病院で診療を受
けられ、一日が終わり床
に就くときも、誰もが不
安を抱かず安心して眠り
につける、そのような町
にしていくために、支援
の現状課題、今後の取り
組みについて伺います。

答

住民相談等から
物価高騰が低所得
世帯に与える影響は大き
いと感じる。賃貸アパ
ルト居住者が町営住宅入居
を希望されるケースや、
生活困窮者自立支援相談
事業により、相談者の状
況に合わせて仕事の支援
や住まいの支援、家計の
立て直し支援、子どもの
学習や生活支援などを提
供するケースもある。

今年度の就学援助制度
の申請は241件あり、
認定した場合、給食費は
全額免除となる。学習支
援では所得制限なしで放
課後学習や地域未来塾等
を行っている。また日野
町少年センターでは中高
生を対象に学習支援を行
っている。
生活が困窮している方
には食糧支援、生活資金
の貸し付け、救護施設へ
の措置入所、生活保護等
を行っているが、今後は
相談意欲が無い方や来所
できない方等も視野に入
れ、支援機関と連携し取

問

進む高齢化への対応と福祉施策のあり方を問う

答 「元気で長寿！幸せのまち、日野」の実現を目指す

問

日野町の令和5
年度高齢化率は
32.1%と滋賀県全体の
高齢化率27.1%を上回
っており、県内でも高齢
化が進んでいる自治体の
一つです。この状況から
当町では高齢者福祉施策
や地域包括ケア体制の強
化が一層重要となってい
ます。

地域包括ケアシステムの
深化や認知症支援、生活
支援サービスの強化など
も強く求められています。
これらの施策の進捗や課
題を明らかにし、町民の
声を反映し、安心して暮
らせる地域社会の実現に
むけて、町の高齢化への
対応と、福祉施策のあり
方を問います。

答

令和6年度の地
域包括支援センタ
ー対応件数は1396件

り組みを進めていきたい。

低所得世帯に対する 主な支援制度

1. 物価高支援給付金 (令和6年度)
2. 低所得子育て世帯加算給付金
3. 子育て世帯生活支援特別給付金
(ひとり親世帯分)
4. 就学援助制度
5. 福祉医療費助成制度
6. 生活困窮者自立支援制度

※詳しくは役場にご相談ください

- ・福祉保健課地域共生推進担当
0748-52-6524
- ・子ども支援課
0748-52-6583
- ・教育委員会 子育て・教育相談担当
0748-53-3838

介護保険給付費は平成
27年度に17億5千万円であ
ったが、令和6年度には
18億7300万円とな
り、現在月6200円の
介護保険料は令和22年度
には月8176円になる
見込みである。課題も多
いが、住み慣れた地域で、
生涯いきいきと暮らせる
「元気で長寿！幸せのまち
日野」の実現を目指す。

議員のうごき

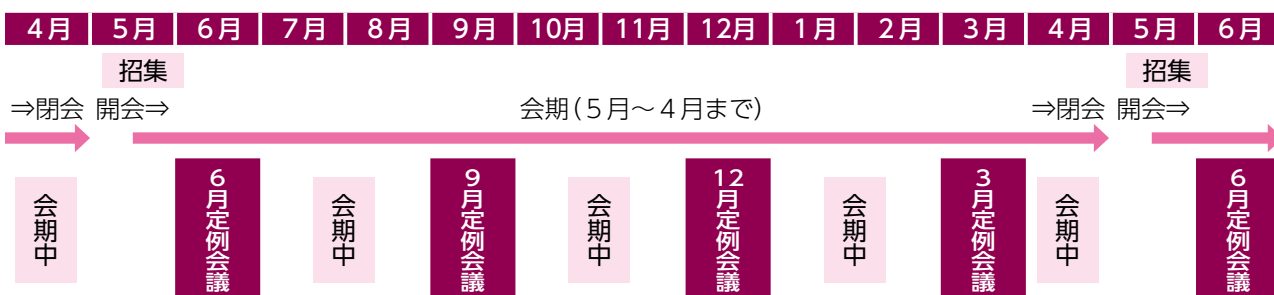
(令和7年4月1日～6月30日)

公務名		場所	期間	出席議員
東近江地区交通安全決起大会	来賓	日野町役場	4月4日	議長、総務常任委員長
春の全国交通安全運動街頭啓発	地域交流	町内	4月6日～15日	議員全員
町立小学校入学式	来賓	各町立小学校	4月9日	各小学校区議員
蒲生郡町村議会議長会定期総会	構成員	竜王町役場	4月17日	議長、副議長
令和7年度 第1回 市町村長等・議会議員特別セミナー	研修	全国市町村国際文化研修所	4月21日～22日	福永・柚木
第3回 日野町国際親善協会理事会	構成員	日野町防災センター	4月23日	総務常任委員長
市町村議会議員研修「新人議員のための地方自治の基本」	研修	全国市町村国際文化研修所	5月7日～9日	柚木
日野町老人クラブ連合会総会	来賓	わたむきホール虹	5月14日	議長、厚生常任委員長
第37回 日野第二工業団地企業協議会総会	来賓	日野町商工会館	5月15日	議長、中西
日野川改修期成同盟会定期総会	来賓	近江八幡市安土コミュニティ防災センター	5月16日	議長、産業建設常任委員長
市町村議会議員研修「自治体決算の基本と実践」	研修	全国市町村国際文化研修所	5月19日～20日	柚木、加藤、後藤
日野町商工会 第65回通常総代会	来賓	日野町商工会館	5月23日	議長、産業建設常任委員長
多賀町議会視察受入れ	応対	日野町役場	5月26日	柚木、野矢、後藤、中西
日野観光協会総会	来賓	日野町林業センター	5月26日	副議長
令和7年度 町村議会議長・副議長全国研修会	研修	東京国際フォーラム	5月27日	議長、副議長
日野町青少年育成町民会議総会	来賓	日野公民館	5月30日	副議長
第55回 日野中学校体育祭	来賓	日野中学校	6月6日	副議長
第60回 滋賀県消防操法訓練大会 操法練習開始式	来賓	日野消防署	6月14日	議長、副議長、総務常任委員長、高橋、加藤、後藤
日野小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月26日	議長、副議長、総務常任委員、西澤
桜谷小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月27日	議長、副議長、総務常任委員、高橋、加藤
南比都佐小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月30日	議長、副議長、総務常任委員

その他 通常公務として日野町議会臨時会・定例会議 一部事務組合(東近江行政組合議会)
議長公務 32件 などがあります。

通年議会を導入し、議会の活性化を

令和7年6月1日から会期を約1年間とする通年議会を導入しました。これまでは年4回(3月、6月、9月、12月)開会し、会期は約1ヶ月間でした。会期を通年により、常に議会が活動できる状態になりました。



通年議会になると
どうなるの？

委員会活動では、審議時間が十分に確保でき、議員間討議の活発化や議案に対する詳細な調査が可能になります。災害などの突発的な対応や緊急の行政課題などにも速やかに対応でき、議会の機能強化に繋がります。

27年ぶりに議員報酬改定

	改定前(月額)	改定後(月額)
議 長	320,000円	351,000円
副議長	250,000円	288,000円
議 員	230,000円	264,000円

日野町議会議員の報酬月額が平成10年4月に改定されて以降、27年間にわたり据え置かれてきましたが、令和7年4月から左記のように改定されました。

現在、町議会議員は14名（内、女性3名）で、40代4名、60代5名、70代5名で構成しています。地方議会はなり手不足といわれていますが、女性や若い世代など、あらゆる世代が町政にどんどん参画されることを願っています。

今後も議員力を向上させ、更なる議会改革を進めてまいります。皆様のご理解をお願いいたします。

議長コラム



議長杉浦和人
確かな情報の
入手を

大規模な被害が予想されている南海トラフ地震は今後30年以内に80%程度の確率で発生すると気象庁から発表されています。

たびたび、各地域で発生している地震情報がテレビや携帯電話から流れてきます。平時から「備えあれば憂いなし」と住民への防災意識の高揚をはかる必要があります。

日野町も過去には幾度となく風水害に見舞われています。特に昭和34年の伊勢湾台風では平地で300mmの降水量に達し、日野川流域でも河川が氾濫し、死者1名、家屋の全壊4戸、半壊8戸、流失1戸、床上浸水63戸・床下浸水776戸と甚大な被害が出ました。

こうした大規模災害発生時や緊急時には、国の防災基本計画や日野町地域防災計画を熟知し、議会としての対応をしっかりとまいります。

また、国が進める防災・減災国土強靱化事業に、町内の危険地域と予想される箇所を一件でも多く採択するように議員一丸となって取り組んでまいります。

一方、海外のSNS等で「この夏、日本で大災害が起こる」との情報が流れ、一部の外国からの旅行客が足止めになり、日本の観光地への旅行需要が減少しました。

住民の皆さまには、日頃から正確な情報を入力することに心掛けていただきますようお願いいたします。

9月定例会議(本会議)のお知らせ(予定)

9月1日(提案説明) 11日(質疑)
12日(一般質問) 16日(一般質問)
26日(委員長報告・採決)

「議会だより」へのご意見を お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく読まれる議会だよりにさせていただきます。



二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。

編集後記

広報委員会も新たなメンバーでのスタートとなり第32号の発行を迎えました。今後は、全国の議会広報誌の傾向や先進事例、住民目線の誌面づくりを分析し必要に応じて大きく誌面変更も検討していきます。

いかに住民の皆さんの生活に溶け込む広報活動を展開するかが今後のポイントとなります。議員が自ら町内各所に赴き、住民さんと向き合うことによって生まれる新たな広報活動を模索していきます。引き続きよろしく願いたします。

福永 晃仁

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

フリーレンと学ぶ地方議会

研修



©山田鐘人・アベツカサ／小学館

5月27日に東京で開催された町村議会議長副議長全国研修会には杉浦議長、野矢副議長が出席し、防災や災害対応をテーマとした講義を受け、理解を深めました。

また、地方議会や地方議員の活動を更に知ってもらうため人気漫画「葬送のフリーレン」のキャラクターを掲載した小中学生向けと高校大学生向けの主権者教育リーフレットの紹介もありました。地方議会に関するクイズに挑戦できる特設サイトもあります。クイズは難問もありますが、ぜひ皆さんに挑戦していただきたいです。日野町議会では議場見学に来た小学6年生により理解を深めてもらうためにリーフレットを配布しました。



式典

大谷公園にて「炬火イベント」を開催

6月7日(土)大谷公園野球場で、この秋に開催される国民スポーツ大会の機運を高めるための「炬火イベント」が開催されました。この日に日野町とのパートナーシップ協定を結んだ「東レアローズバレーボールクラブ滋賀」の選手や多くの町民とともに議員も参加しました。日野町で開催される10月4日(土)と5日(日)の軟式野球大会の成功に向けてみんなで盛り上げていきましょう。



消防操法訓練大会操法練習開始式に出席 (今年は第二分団が出場)

式典



6月14日(土)午前6時より、日野消防署にて「第60回滋賀県消防操法訓練大会操法練習開始式」が行われました。今年、日野町からは「小型ポンプの部」に日野町消防団第二分団が出場されます。この日は選手5名をはじめ関係者が集まって激励のあいさつが行われました。議会からは、議長はじめ副議長・総務常任委員長・地元議員(3名)が開始式に出席しました。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行／日野町議会 ◆編集／議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。